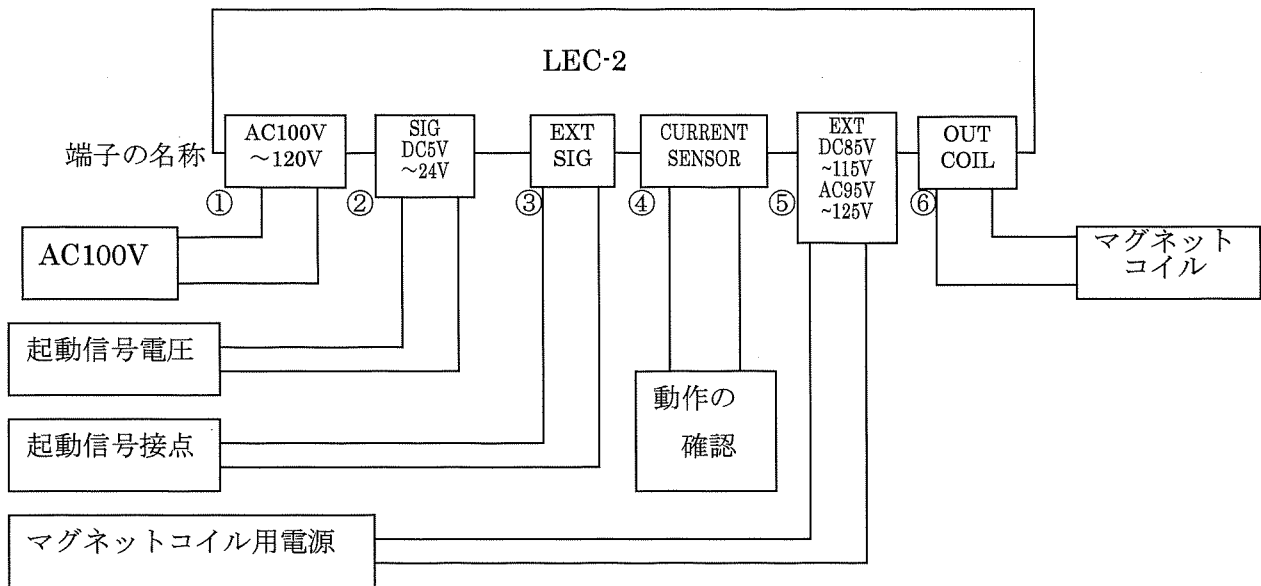


1.配線



2.接続の説明

- ① AC100V：制御回路用の電源入力
- ② 起動信号電圧：シーケンサ等から DC5～24V の電圧を入力するとマグネットコイルに通電されます。
- ③ 起動信号接点：外部のリレー等からの接点を ON するとマグネットコイルに通電されます。
(起動信号電圧または起動信号接点のどちらかを選択して使用してください)
- ④ 動作確認端子：内部のリレーによって起動信号が入力されている事を確認できます。
- ⑤ マグネットコイル用電源：マグネットコイルに通電する電源を接続します。DC85～115V または AC95～125V。DC の極性はありません。
- ⑥ マグネットコイル：マグネットコイルを接続します。LF-38N にて 4 台まで並列接続可能です。その他のマグネットでも使用電流が 2.4A 以下であれば使用可能です。

- 3.逆励磁機能：マグネットコイルの通電を切ったとき、残磁気を防止する為の、逆励磁通電を行います。
逆励磁の時間はパネルのデジタルスイッチで 10～990 ms の範囲で設定できます。

従来品である LEC-1 の調整用ボリュームの目盛と設定時間の対応表(目安)

LEC-1 目盛	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
LEC-2 セット時間 (ms)	20	90	220	310	450	570	670	760	820	840

- 4.過電流保護：マグネットコイルの過電流を検知して通電を停止します。(ALARM ランプの点灯で表示)
制御回路用の AC100V を一旦切り、原因を取り除いて、AC100V の再投入で復帰します。

- 5.断線保護：マグネットコイルの断線を検知して ALARM ランプの点滅で表示します。
通電停止はしません。原因を取り除くことで、ALARM ランプは消灯します。